

命の大切さ＝救命救急研修

今日も晴天ですが、寒さは更新され、今季一番の寒さ。
でも今日は園庭に子ども達は元気に走ったり、縄跳びをして遊んでいます。
元気な子ども達の声が園庭いっぱい聞こえます。
やっぱり、子どもは“風の子、元気な子”でした。今日も元気をもらいました。

さて、毎年1回 幼稚園・保育園の職員は、救命救急研修を受けています。
普段、救急車に乗り、人の命と常に向き合っている救命士の方から

- ・救命救急の在り方
- ・救急車の利用の仕方
- ・AEDの重要性と使い方
- ・救命時の対応の仕方等の説明を聞き、実地体験をしました。

救急を要することはあってはいけない事ですが、
“命を守る”ということは、生きている限り“必要不可欠”です。
どんな方法でどのように行うかの予備知識をしっかりと学びました。

避難訓練と同じで、園児一人ひとりの体調管理を日々確認し、急を要する時の
職員間の連携を再度確認していきたいと思います。気の引き締まる研修でした。
みなさん、ご協力有難うございました。

